

ロシアの大学関係者一行が学長を表敬訪問

平成22年12月15日（水）、ロシアのクラスノヤルスク国立農業大学長、チュメニ国立石油ガス総合大学副学長、私立西シベリア経済法科大学長、トムスク国立技術研究大学代表一行13名が千葉大学を来訪した。一行は千葉大学との今後の教育研究交流について協議を行う目的で来訪したもの。

クラスノヤルスク国立農業大学はシベリア中部に位置し、再生資源やバイオ燃料に関するプロジェクトを推進している。チュメニ国立石油ガス総合大学はロシア国内の原油の約6割、天然ガスの約8割を産出するシベリア中部のチュメニ市にあり、原子物理学やエネルギー関連の研究が盛んに行われている。私立西シベリア経済法科大学は15年前に設立され、チュメニ国立石油ガス総合大学と共同で教育を行っている。トムスク国立技術研究大学はシベリア西部に位置し、シベリアで最も大きい総合大学の一つで人工頭脳の研究が盛んに行われている。

表敬には、千葉大学から野波理事、新倉副理事、安藤副理事、伊藤教授（理学研究科）、五味田国際企画課長が同席した。

表敬では各大学の簡単な紹介が行われた後、主に日本の大学の教育システムや今後の教育交流について活発な意見交換が行われた。

また、チュメニ国立石油ガス総合大学から千葉大学と交流協定を締結したいとの提案があり、今後締結に向けて協議を続けていくことで合意した。



前列左から3番目：チュメニ国立石油ガス総合大学副学長
左から2番目：トムスク国立技術研究大学
左端：私立西シベリア経済法科大学